



◇ 導入事例

ソラン株式会社



技術統括本部
技術統括室 情報システム
音喜多順 様 (右)
アウトソーシング第一事業部
プラットフォームソリューショングループ
山之上克紀 様 (左)

Spam Prevention Solution によって
社内には押し寄せるスパムメールをブロック。
先進的な情報セキュリティ対策に取り組む。

- ◆初期導入時期
2007年3月
- ◆ライセンス数
クライアント・サーバ：
約5600台

Before

2006年初頭から届き出したスパムメールが次第に増加し、業務に支障を与えるレベルにまで及ぶようになった

Trend Micro Spam Prevention Solution
を導入

After

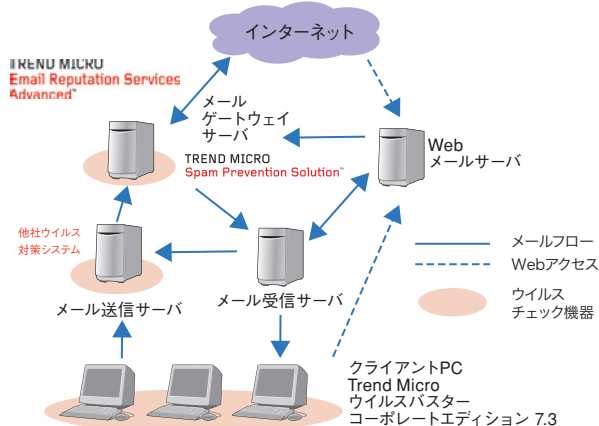
Email レピュテーション機能によるスパムメール対策で、約90%以上のスパムメールをブロックすることができるようになった

導入製品

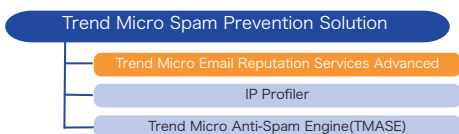
TREND MICRO Spam Prevention Solution™

独立系ITベンダーであるソラン株式会社では、2006年より増え続けてきたスパムメールに頭を悩ませていた。本格的なスパムメール対策に乗り出した同社では、導入の手軽さ、運用の簡易性、コスト面でのメリットからトレンドマイクロのスパムメール対策製品、Trend Micro Spam Prevention Solutionを選定。その機能の一つである、Email Reputation Services Advancedを使って社内のメールシステムに蔓延するスパムメールを大幅に駆除することに成功した。

ソラン株式会社様 ゲートウェイセキュリティ対策構成図



Trend Micro Spam Prevention Solution 製品構成



■導入企業プロフィール

会社名：ソラン株式会社
本社：東京都港区三田3-11-24
代表：代表取締役社長 千年正樹

URL：http://www.sorun.co.jp

従業員数：2729名（2007年3月現在）
事業内容：システムコンサルティング、エンジニアリングサービス、アウトソーシングサービス、e-ビジネスサポート、情報セ

キュリティサービス、パッケージ販売
概要：全国に6つの拠点を中心に、金融、通信、製造、流通、公共、医療、サービスなど幅広い業種へのITソリューションを提供している。

導入背景

「次第が増えてきたスパムメールが、業務に支障をきたすほどの数になりました」

1970年に創業されたソラン株式会社は、数々のM&Aによって事業規模を拡大してきた独立系ソリューション企業だ。全国に6つの拠点をもち、金融、通信、製造、流通、公共、医療、サービスといった幅広い業種へのITソリューションを提供している。ITソリューション企業として、数多くの企業の機密情報を扱うことも多い同社は、情報セキュリティやコンプライアンスに関しての従業員の意識も高く、特に仕事上での「ライフライン」とも言えるメールのセキュリティ対策は、かなり細やかな対応を行っている。特に社外へ送信するメールにはウイルスなどが混在しないよう、トレンドマイ



ソラン株式会社
技術統括本部
技術統括室
情報システム
音喜多順 氏

クロのInterScan Messaging Security Suiteを含めた複数のゲートウェイセキュリティ対策を施し、厳重なウイルスチェック体制を構築しているほどだ。ウイルスメールには万全の対策を施していた同社だったが、2006年頃より新しいメールセキュリティの課題が浮上することとなった。

「2006年の1月頃から『スパムメールが届いている』という報告は受けていました。最初は目立つほどではありませんでしたが、次第に状況が変わってきたのです。10月に入ると、多い人で1日に60通ものスパムメールが届く状態で、業務に支障をきたすほどのレベルになってきました。」

「2006年の1月頃から『スパムメールが届いている』という報告は受けていました。最初は目立つほどではありませんでしたが、次第に状況が変わってきたのです。10月に入ると、多い人で1日に60通ものスパムメールが届く状態で、業務に支障をきたすほどのレベルになってきました。」

「とにかく何とかして欲しい」という声が、社内からかなり上がるようになりました」と、技術統括本部 技術統括室 情報システム 担当次長 音喜多順氏は当時の状況を説明する。

選定ポイント

「導入の手軽さ、運用の簡易性、コスト面でのメリットのすべてが選定の理由です」

同社では、急激に増加したスパムメールへの対策手段を講じるようになった。「導入費用にも限りがありますし、導入に際して体系的な変更も想定されましたので、どのシステムを採用するかはかなり慎重に検討を重ねました」(音喜多氏)

導入製品の選定には、国内外のベンダーが提供するスパムメール対策ソリューション



ソラン株式会社
アウトソーシング第一事業部
プラットフォームソリューショングループ
山之上克紀 氏

8製品が比較検討された。

「検討したポイントは、当社のシステムになるべく変更を加えずに導入できること。それから、運用管理がしやすいよう日本語化されている製品であること。そして最後は価格です。この3点を基準に対策製品の検討を行いました」(音喜多氏)

そして選ばれたソリューションが、Trend Micro Spam Prevention Solution (以下、SPS) の機能の一つである Trend Micro Email Reputation Services Advanced (以下、ERSA) だった。

数多くの製品の中から自社のシステムに合致した製品を検討した音喜多氏は、本製品を選出した理由を以下のように説明する。

「まず、利用している電子メールサーバソフトウェア Postfix に対応している、設定情報を変更するだけで簡単に導入できること。また、Web インターフェイスが ASP サービスとして用意されていて、管理が楽である点(※)。コスト的にも、比較検討した ASP 製品の中で最も安い価格でした。それから既に社内システムに導入されている InterScan Messaging Security Suite との相性も良いという点。また、トレンドマイクロが世界最大級のスパムメール送信元のデータベースを保有しているということもキーになりましたね。こういった製品メリットをトータルに考えた上で、導入を決定しました」(音喜多氏)

複数のサーバによるウイルスチェック体制を構築している同社の社内システムにとって、コスト面でも ERSA は大きな利点を持っていた。

「トレンドマイクロの場合は、何台サーバがあってもクライアントの数だけライセンスを用意すればいいので、コスト的にも助かりましたね。これは導入や運用を考えても、大きな魅力でした」(音喜多氏)

※ERSAはソフトウェアのインストールを必要とせず、手軽にインストールが可能です。また管理コンソールもインターネット上にあるトレンドマイクロのデータセンターで運用されているため、ユーザー環境へのソフトウェアのインストールは不要です。

運用状況

「社外から押し寄せるスパムメールを、社員に届く前に Trend Micro Email Reputation Services Advanced で堰き止めているという状況です」

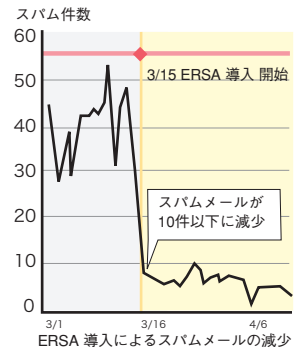
数多くのスパムメール対策ソリューションの中から本製品を選定した同社は、導入に先立って体験版を試験導入し、その効果のチェックを行ったという。

「かなり細かく数値を割り出して確認を行いました。試験導入の際に当社で行ったテストでは、スパムメールが誤ってシステムを通過した率は6%、業務メールがスパムメールだと誤検知されたケースは0.003%という結果になりました。これに対しては、実際の運用時には個別に対応することを課題としました」(アウトソーシング第一事業部 プラットホームソリューショングループ 山之上克紀氏)

体験版を試用し、問題がないことを確認した上でERSAの導入を決定した同社では、3月から社内システムでの運用を開始した。「社内システムに大きな変更が必要なく、導入はかなり楽でした。作業としても2日かからないぐらいでした。当然ですが、システムを運用してからスパムメールが届く数は激減しましたね」(音喜多氏)

現在、同社宛に届くメールの内、60%がスパムメールだという。しかも、その数は増える一方だ。

「これは世界的な傾向かもしれませんが、やはりスパムメールの数は劇的に増えている印象です。社外から押し寄せるスパムメールを社員に届く前にERSAによって堰き止めているという状況です」(音喜多氏)



将来展望

「お客様の情報を預かるITソリューション企業として、より先進的な情報セキュリティ対策を進めていきます」

2007年7月、全社的にISMSの認証を取得するなど、今後も先進的なセキュリティ対策を施していく予定という同社。スパムメール対策にも、引き続き注力していく考えだという。

「今後は、今利用している InterScan Messaging Security Suite 5.11 を、7.0 にバージョンアップして、SPS が持っている機能をフルに活用し、ERSA に加えてメールアドレスの収集を未然に防ぐ IP Profiler やキーワードのフィルタリングができるコンテンツフィルタリングなどにより、更に強化したスパムメール対策を行っていく考えです。また、メールアドレスの管理の強化といった基本的な対策も、改めて社員に通告していきます」(音喜多氏)

現在ソラン株式会社は持ち込みPCへの対策といった検疫体制の強化のために、社内のネットワークをすべて入れ替えている段階にある。スパムメール対策に留まらず、高いレベルにある社内の情報セキュリティ対策も、今後さらに推し進めて行きたい考えだ。

トレンドマイクロ BIZ FOCUS スパムメール対策ソリューション評価テストで、トレンドマイクロがナンバーワンを獲得

アリゾナ州ツーソンを拠点とするITコンサルティング企業「Opus One」が2007年2月に実施したスパムメール対策製品ベンチマークテストで、トレンドマイクロのERSAおよびSPSに搭載されているEmailレピュテーション機能が、テスト対象となった製品中最も高い検出率を記録した。今回のベンチマークテストは、トレンドマイクロほか代表的なスパムメール対策ベンダーの6社の提供するスパムメール対策ソリューションを対象に行った。スパムメールの検出率および誤検出率を測定したところ、最も高い検出率を記録したのはトレンドマイクロのEmailレピュテーション機能で、実に97.36%の検出率を達成。トレンドマイクロのEmailレピュテーション機能が最もスパム対策に優れたソリューションであることを証明する結果となった。また、SPSは、新機能「IP Profiler」による不正なアドレス収集の防御、ターゲット攻撃型スパムメール対策「IPレピュテーションによる既知のスパムメール送信元(ボットネット)への対応、Trend Micro AntiSpam Engineによる柔軟なスパムメール対策の4段階でスパムメールをブロックする。トレンドマイクロはスパムメール検知だけではなく予防から対策を打つことで、情報漏えいなど企業を襲う脅威に対し効果を発揮し続けるだろう。

【お問い合わせ先】

トレンドマイクロ株式会社
東京本社 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインスタワー
TEL: 03-5334-3601 (営業代表) FAX: 03-5334-3639

◆ 製品の詳細についてはこちらから
トレンドマイクロの製品情報サイト: <http://jp.trendmicro.com>